

●トラック1…オープニング

●背景…旅館前(夜)

(主人公、外を歩いている)

◇SE…足音

(旅館の入り口へ入る)

(足音停止)

●背景…旅館・玄関(夜)

(千鶴がやって来る)

◇SE…品のある歩き(千鶴)

◆正面

お帰りなさいませ。

冒険の方はいかがでしたか？

(主人公「疲れちゃった」)

ふふ。頑張られたみたいですね。

汗がたくさん。

先月、冒険ランクがFからEに上がられて以降、
とても任務をこなすことが楽しそうで。

(千鶴、アビゲイル(サキユバス)がいないことに気づく)

■演技…主人公の後ろを覗くように

あら？

お連れ様はご一緒じゃないのですか？

(主人公「ちょっと離れてて」)

そうですか……。

もう夜ですし、あんなにか弱い子がひとりで出歩くななんて危険だと思いますが……。

さ、こんなところで立ち話もなんですから。

こちら、どうぞ。

(千鶴が歩き出し、その後ろを主人公が歩く)

◇SE…品のいい足音(千鶴)

◇SE…足音

■演技…指定箇所まで主人公に背中を向けながら

どうですか？ この旅館は。

あなたのような可愛らしい方に合うのかはわかりませんが……。

(主人公「ほかにお客さんっていないんですか？」)

ええ。お客さんはいないんです。

いまはあなただけ。

なぜかお客様が来ないんですよ。

■演技…振り返る

お食事と温泉には自信があるんですけどね？

(少し沈黙)

(主人公「一人で経営してるんですか？」)

ひとり？

いえ、夫が運営してたんです。

でも……。

■演技…明るい声で

はい。こういう暗い話はおしまいです。

さっ。

(足を止める)

■演技：背中向けることまで

着きました。

◇SE：ふすまを開ける

どうぞ。

(主人公が先に入る)

◇SE：足音

(あとから千鶴が入室)

◇SE：品のいい足音数歩

◇SE：ふすまを閉める

(主人公、部屋の隅で足を止める)

(主人公、荷物を置く)

◇SE：武器を置く

(遅れて別の荷物)

◇SE：荷物を置く

◆後方

夕食の方、ご用意しますか？

(主人公「いえ、もう済ませたので」)

◆正面

あら。残念です。

では、入浴にしましょうか。

当旅館自慢の露天風呂へどうぞ。

では、私は準備してきますので……、

ひといきついたら、露天風呂まで来てくださいね。

(主人公「なにからなにまで、ありがとうございます」)

ふふ。礼には及びませんよ。

失礼致します。

(千鶴、頭を下げる)

◇SE…品のいい足音

◇SE…ふすまを開ける

◇SE…品のいい足音数歩

◇SE…ふすまを閉める

◇SE…品のいい足音

(足音のフェードアウト)

●トラック2

●背景・露天風呂

(主人公、風呂椅子に座って体を洗う)

◇SE…体を洗う音

(千鶴がタオルを巻いて入ってくる)

◇SE…風呂のドアを開ける

◆後方遠い

失礼します。

(主人公、動揺する)

◇SE…動揺でガタツと動く

◇SE…ペタペタ足音 (千鶴)

◆後方

お体、流していいですか？

(主人公「だ、ダメですよこんな……!!」)

ふふ、ダメなんですか？

でも……ほかにだれもいないんですし、
いいじゃないですか……♪

(千鶴、背中に密着して耳元へ)

◇SE…からだを寄せる

◆左極近

それに……。

男の子なら、たまにはこういうのもいいんじゃないですか？

(主人公「ど、どういうことですか……！」)

わからない？

ふふ。

でも、気にしないでサービスとして受け入れてくださいね。

ソープ、取ってください。

(主人公が石鹸を渡す)

◇SE…手渡す

ありがとうございます……♪

(千鶴、手でソープを混ぜる)

◇SE…手でソープを混ぜる音

◆後方近い

まずは背中から洗っていきましょっか。

(混ぜる音停止)

(千鶴、背中を洗う)

◇SE…洗体の音

ふふ。人の背中を洗うなんて……、

夫以来ですよ。

もうオバさんですが……若い頃はイチャイチャできて楽しかった。

(主人公「恋しい、ですか？」)

ええ……恋しい。

会いたいですし……抱きしめてほしい。

不安に思う人なんて、山ほどありますよ。

いまみたいに……あなたが居てくれたら、

楽しくて、忙しくて、そういう時間も忘れられるんですけどね。

(少しの間)

あなたは……連れてた女の子はサキユバスですよね？
どういう関係ですか？

(主人公「え、えつと……」)

◆右極近

エッチとかした関係、ですよね。

(主人公、動揺)

◆後方近い

ふふふつ。

見ればわかりますよ？

年頃の子ですから、顔で隠せないんですよ。

ちなみに、もつとわかりますよ？

あなたって……年上に受けるでしょ？

可愛いですからね。

ふふ、いいよられたりしませんか？

(主人公、シスターとの件を話す)

あらあ。

シスターさんと、体の関係を？

すごい経験してるんですね。

そんな年なのに……。

私があなたと同じ年の頃なんて、

結婚を夢見る市井（いちい）の女でしかなかったな……。

（少しの間）

ところで、明日旅立つんですよね？

寂しいですねえ……もうしばらく居てくれてもいいのに。

（主人公「また来ます」）

ふふ、期待して……次回をお待ちしてます。

でも、この後はどちらに？

（主人公「騎士さんに教えてもらおうと」）

騎士さん？

ああ……西の要塞都市の？

（主人公「知ってるんですか？」）

ええ、たまにそういう方がいらつしやるので。

弟子入りしたいって。

そっか……あなたも強くなるために冒険に出るんですね。

男の子も女の子も夢を持って、元気に生きててすごい……♪

私も、いつまでも夫のことばかり考えてないで、前向かなくちや。

（少しの沈黙）

（洗体の手を止める）

正面、いいですか？

(主人公「い、いいですよー!」)

遠慮しない。
ね?

(主人公「で、でも……」)

平気。

それとも、オバさん相手に裸見せたくない?

(主人公「そんなことないですよ!」)

ふふ。ありがとう♪
なら、洗わせてくれますよね?

(主人公、ターンする)

◇SE…軽く立ち上がる

◇SE…椅子に座る

◆正面近い

■演技…下半身を見る

あらあ……♥

ふふふ。おつきくなってる……♥

オバさんに興奮してくれたんですか?

(主人公「あ、あのお……」)

遠慮しなくて大丈夫ですよ?

あ、私だけタオルなんてズルいかな?

見たい?

私のおっぱい。

(主人公「う、う……」)

素直になつて？

見たい？

あの子ともシスターさんともお付き合ひしてないんですよ？
でしたら、浮気にはなりませんよ……♪

(主人公「み、見たいです」)

はい♪

見てくださいね？

(千鶴、タオルを脱いで全裸に)

◇SE…タオルを脱ぐ

どうですか？

オバさんだけど……おっぱいの張りや形には自信があるんです……♪
存分に見ていってください。

私も……見られるのは、悪い気しませんから……♪

◇SE…ソープを手取る

◇SE…ソープを手で混ぜる

◇SE…ソープを置く

では。

胸から失礼しますね……。

(胸元の洗体)

◇SE…洗体

ふふふ。

ずっと視界に入つて……気になつちやいます。

(主人公「ごめんなさい……」)

謝らないで？

ほら、あなたって……サキュバスの子と一緒にいるじゃないですか？
夜……おふたりでなにされてるか……私、知ってるんですよ？

■演技…ちよっといたずらっぽく

可愛い顔して……結構、激しいんですね……♥

童貞じゃなくて、少し残念ですね……ふふふ。

でも、ちよっと生意気な女の子があんあん喘いでる声……、
女としての気分が上がってきちゃいますよね……♪

(少し沈黙)

私も……昔はああやって、

夫のおちんちんを味わってたなあ……。

フェラチオも、パイズリも……挿入も……♥

色んなこととして、愛し合ってた……。

(主人公、興奮してしまう)

あら………？

ふふふ。オバさんの話聞いて、悶々しちやっただんですか………？

ひくひくしちやって………可愛い♥

(SE停止)

それじゃあ………次は、

このおちんちんを洗いましょうか………？

(主人公「い、いいですよー！」)

遠慮しないの。

◇SE…ソープを手取る

◇SE…ソープを手で混ぜる

◇SE…ソープを置く

じゃ、失礼します……♡

◇SE…洗体

カチカチ……♡

オバさんのおっぱい……エッチだった？

ふふ。遠慮しないで……、

たつぷり興奮してくださいね。

ここを洗うのは……ただのサービスです。

サキユバスの子にも内緒で大丈夫。

男の子は、色んな経験を積んで立派になるんですから。

(少し沈黙)

鞆丸、失礼しますね……。

(少し沈黙)

ふふ。悶えちゃって……可愛い。

んう……ん……こんなに鞆丸は小さいのに……、

おちんちんだけは立派……♡

この竿も……ふふ。

んう、っ……んく、ん……ふう、ん……。

ん……ん……んくう、ん……。

これから成長して……ますます硬さも長さも、
一流になるんですね……。

ああ……懐かしい心地……♡

◇SE…泡まみれの手コキ・低速

ちよこつとだけ……ふふ。

(主人公「だ、ダメです……ッ」)

ダメじゃないですよ……？

ふふ。裏筋も竿も丁寧に洗って……、

カリも綺麗にしなきゃダメですよ？

おちんちんは綺麗にしてなきゃ、

女の子に嫌われちゃうんですから。

(少し沈黙)

(主人公「で、出ちゃう……ッ」)

出る？

うん。いいですよ♥

いっぱい、スッキリしましょう……♥

さあ、出して……ッ。

(射精)

(手コキ停止)

◇SE…射精

あっ……！

あ、ああ……ッ。

たくさん、出ましたね……♥

スッキリ、しましたか……？

はあ、はあ……はあ……はあ……。

ふふふ。

でも、まだビンビンですね。

全部出さないで？

あと一回……出させてあげますから……♥

●トラック3

※追加トラック（プロットだと本番がなく、抜きどころが微妙なので）

●背景：浴室（夜）

（トラック2の続き）

◆正面近い

オバさん相手でも、ムラムラしてくれてるんですね。
それなら……違うところも使って、綺麗に奉仕しましょうか？

（千鶴、四つん這いで移動）

◇SE：四つん這い歩行

（千鶴、バックの体勢）

■演技：基本背中を向けた状態に

◆正面

入れて？

（主人公「えっ！」）

■演技：振り返る

大丈夫……ほかの子とエッチしてても、
結婚してないなら浮気にならないのよ？

■演技：ここまで

（主人公、千鶴の後ろに膝立ち）

◇SE：椅子から立つ

◇SE：ぺたぺた移動数歩

◆正面近い

ふふふ。

男の子は経験なんて重ねてナンボです……♡
どうぞ、私のこともあなたの女性経験のカウントに、
勘定してください……♡

◇SE…挿入

んく……ッ。

ああ……ありがとうございます……♡

あつ、ああ……はあ、はあ……ッ。

広がっちゃう……♡

(根元までペニス挿入)

んう……ッ。

あつ、はあ……はあ……はあ……はあ……はあ……。

久しぶりに……お迎えしちゃった……♡

あなたは……とても慣れてるんですね♡

こんなにお子ちゃまな年頃なのに……、
オバさんよりシタことありそう……♡

(少し沈黙)

■演技…振り返る

そろそろ……動く？

気持ちいいの……欲しいでしょ？

■演技…ここまで

◇SE…ピストン・低速

ふうう……んんん、くつ、んッ……。

はあ……あ、ああ……ッ。

んくう、ん……ッ、ん……。

気持ちいいですよ……？

はあ……はあ……んん、くツ、んう……。

ふう、んん、ツ、ん……はああ、はあつ。

あああ、んんくツ、ん……ん……あ、ああ……。

んんツ……んんくツ、ん……っ、んう……。

私のおまんこはどう……？

オバさんだけど、まだまだツルツルで、キツイでしょ？

はあ……はああ、んう、んう。

ふう、ん、んく……んう、ん……はあ、はあ……ツ。

そう、オバさんのおまんこ……ツ、

昔から、中の粒がでこぼこで気持ちいいって評判なんですよ……♡
評判と言っても、夫以外に経験なんてないんですけどね……ふふ。

んんっ、ん……はあ、くんうん、ん……んツ。

はあ……はあ……んんう、んんく、うんんう……。

はあ……んんくツ……んん、う、ツ、ん……。

ああ、ふううう、んく、んっ……んう。

はあ……あ、ああ……っ。

一回出した後でも、こんなにビンビン……♡
サキユバスの子……遅いおちんちんが相手で羨ましいわあ……♡

はあッ……はあ……っ。

んんくツ……んう、私なんて、ご無沙汰なのに♡

あうんん、んんくツ、ん……んっ。

はあつ、はあ……あつ、ああ……♡

んんくツ、んう……んん、んっ、ん……ツ。

■演技…振り返る

もつと、激しくしてもいいですよ？

体が疲れてなければ、ですけど。

■演技…ここまで

(主人公「平気ですか?」)

ええ、平気ですよ……♥

むしろ、この……ちよつと肉のついた私のお尻を、

パンパン♥ パンパン♥

太鼓みたいに、叩いちゃってください……♥

◇SE…ピストン・中速

ああああ……ッ。

んくんんうう、んっ……あ、ああッ♥

ふうう、んくッん、んううッ。

ああっ、そこッ、んう♥

ふう、ふう、んんう、ん、んく……♥

■演技…振り返る

思いつきり……奥まで届かせて……♥

そうしたら、あなたも気持ちいいはず♥

■演技…ここまで

んんう、んっ……はあっ、はあ……っ。

はあっはあ……お風呂の中だから、

はあ、う、んん、睾丸の中、空っぽにするくらい、感じないと……♥

ああっ、んん、くっ、んんう、ん。

はあっ、はああっ……はあ……ん、んう。

はあ……はあ……はああ……んく、んううう。

■演技…振り返る

顔、こつち……♥

◆正面極近

んん、ちゅ、ちゅつ、ちゅむう、ちゅ。
はあつ、はあ……んん、ちゅく、ちゅる、ちゅッ。ちゅ。
んぷんん、ちゅく、ちゅ……ッ。
ふはあ……。

■演技…ここまで

◆正面近い

オバさん相手でごめんね……？

はあつ、はあ……んん、んくッ、んう……ッ。

私も……ムラムラ、しちゃってます……♥

こんな可愛くて、ちっちゃい子に対して……、

抱いちゃいけない感覚なのに……♥

んんく、んう、私……止まらなくてっ♥

(主人公「僕も……止まらないです……ッ」)

そう？

なら、一緒にイク？

いいですよ……っ♥

中に出しても♥

■演技…振り返る

オバさんだし、若い子の精液大歓迎♥

はあつ、はあつ、ちようだい？

ボクのほくほくにあつたまった濃厚ザーメン……♥

■演技…ここまで

◇SE…ピストン・高速

んう……ッ！

はあつ、はあッ！

んくう！ うつ、アッ、うう……！

オバさん、興奮しちゃう……ッ！
んんんんッ！

はあっ、う、んうう……ッ！

お互い、止まらないッ、ですね……ッ！
ああっ、んん、んくっ！

(主人公「出ます！」)

■演技…振り返る

出る？ いいわよ♥

甘えてッ？

子宮の中にいっ♥

■演技…ここまで

はあッ、はあッ、んううっ♥

あああああッ、い、イク……ッ♥

私もご一緒させていただきます♥

はあっ、はああっ、あっ、ああッ！

イク……んんうう……ッ！

イクううううッ！

(同時絶頂(中出し))

(ピストン停止)

アアアアアアアッ！

あっ——んくうううッ！ あっ、ああ……ッ。

はああッ……はあッ……♥

んくう、う……はあ、う、んうう……ッ。

気持ち、い……♥

■演技…振り返る

おちんちんは……どうですか？

気持ちよく……スッキリできてますか？

■演技…ここまで

んくつ、うう……ん、んう……。

オバさんの子宮も……久々に、女思い出しちゃった……♥

(主人公、ペニスを引き抜く)

◇SE…ペニスを抜く

んはあ……。

◇SE…精液が垂れる

あ、ああ……。

すごい、出たんですね……♥

(千鶴、正面を向く)

■演技…背中向けるここまで

◇SE…身じろぎ

さ、体を洗い流してから、湯船に浸かってくださいね♥
……あ、おちんちんは——

(千鶴、お掃除フェラ)

◆正面下近い(フェラ位置)

んずずうううツ、ぢゅ、ぢゅるるうツ。

ヂュツ、ヂュツ、ヂュツ、ヂュツ。

んんう、ずずうう、ぢゅる、ぢゅ、ぢゅくう。

はあ……はあ……んん、ぢゅる、ぢゅ、ぢゅう。

(ペニスから口を離す)

はあ……。

◆正面近い

さ、ゆっくりと湯に浸かってリフレッシュしてくださいね。
私は、お布団の用意をしますのです。

◇SE…立ち上がる

(主人公「せ、精液は……？」)

◆正面上

ん？

ふふ……あなたがくれた精液は、
しばらく……子宮の中に溜めておこうかしら？
ふふふ。

冗談ですよ。

あとで流しておきますから。

では、ごゆっくり。

(千鶴、歩き出して浴室を出る)

◇SE…ぺたぺた足音

◇SE…浴室のドアの開閉音

●トラック 4

●背景・部屋（夜）

（主人公、部屋に戻る）

◇SE…ふすまを開ける音

（千鶴、布団の上で正座をして待つ）

◆正面

おかえりなさい。

◇SE…ふすまを閉める音

さ——

◇SE…膝をポンポンと叩く

おいで？

ひぎで甘やかしてあげますね♥

（主人公「い、いいんですか？」）

ふふふ、さつきよりもだいぶノリ気ですね。

いいですよ……おいで♥

◇SE…畳の上の足音

◇SE…しゃがむ音

◇SE…膝に頭を乗せる音

（主人公、千鶴の膝でひざまくら）

◆正面近い

ふふ。甘え上手ですね♪

◇SE…頭を撫でる

私……子供がいなかったの、
こうして……甘えられるの、夢なんですよ。

(主人公「そ、そうなんです……」)

ええ。

私と夫はね、故郷が東の島国でね。

その故郷の伝統文化を、この旅館で再現したんです。
働くのに精一杯で、気づいたら忙しくて、忙しくて、
子供を作ろうとしたタイミングにはもう遅くて……夫が事故で亡くなっちゃった。

(頭撫で停止)

さ、暗い話はおしまい。

耳を綺麗にしましよっか？

耳かきの体勢、お願いできますか？

◇SE…身じろぎ

◆左近い

ありがとうございます……♪

(千鶴、耳かき棒を手に取る)

◇SE…耳かき棒を取る

失礼しますね……。

◇SE…耳かき

どうですかー……？

耳かき……初めてですか？

(少し沈黙)

恥ずかしいかもしれませんが……。

んく、ん……。

気持ちよくなって……うとうとしちゃってもいいんですよ……？

ん……ん……う……ん……。

ふふ、さつきあんなに激しかったのが、嘘みたい……。

ん……う、ん……まるで、自分の子ができたみたい……。

……ん、うん……さすがに、

自分の子には、あんなことできませんけどね……。ふふ……。

ツ、ん……ん……。

ん……ふう……んく、ん……ん……。

(耳かき停止)

◆左極近

■演技…息吹き

ふうー……。

◆左近い

どんだん、綺麗になってる……♪

◇SE…耳かき

んっ……んく、ん……。

ふう、ん、ツ、ん……ん……。

うんん、んく……ん……。

ふう…………ん…………ん…………ツ、ん、う、ん…………。
ふう…………んく、ん…………ん…………。

はあ…………んう…………ん…………んツ…………。
ふう、ん、う、ん…………。

こうして、何気ない時間がずっと流れて……、
いつまでも平和に生きられたらいいのに……。
あなたも……ご両親、いないよね。

失った者同士で……身を寄せ合えたらいいのに。
ふふふ…………ん、ツ、んく…………んう…………ん…………。

くツ、んう…………んん、ん…………。
ふう…………ん、う、ん…………ん…………。

(耳かき停止)

◆左極近

■演技…息吹き
ふうー…………。

◆左近い

よし…………ン…………。

◇SE…耳かき

ん、う、ん…………気持ちよさそうな顔…………。
ずっと、してあげられたらいいのに…………♥

ん…………く、んツ…………んん…………んくツ、く、ん…………。
ん…………ふう、んく、ん…………。

ふう…………ん…………ん…………んく、ん…………。

ふうう、ん……。

耳かきと、さつきのエッチ、どっちが気持ちいい？

(主人公「ひ、比較できないですよ」)

ふふふ。

たしかに……比較しても意味ないね。

んう、ん……んく、んッ、ん……んく、ん……。

■演技…小声+独り言

あ……これ……。

ふふふ。

ん……んく……んく、んっ……んう……ふう。ん、んく……。

ん……そろそろ……反対、いこっか？

(耳かき停止)

お願いね？

(主人公、反対の向きになる)

◇SE…身じろぎ

◆右近い

あらあ、こつちも掃除のしがいがあるみたい……♪

じゃあ……キレイキレイ、しちやおう♪

◇SE…耳かき

んう……ん……。

あなたは……あのサキュバスの子のこと、どう思ってるの？

ずっと一緒に居て……ずっと、エッチして……、

あなたくらいの子だったら、割り切るなんて難しいんじゃない？

(主人公「でも、襲いかかってきた相手なので」)

あらあ？ そうなの？

まあ、サキュバスは男の子を食べる生き物だものねえ。
襲われるのは仕方ないですよ。

ん…………ん…………。

ン…………ふう…………。

ん……………っ、ん、ん……………ふう…………ん。

んくッ、んんう、ん…………んう…………。

ん…………ふう…………。

(耳かき停止)

◆右極近

■演技…息吹き

ふうー…………。

◆右近い

綺麗になると、気分いいですよね。

◇SE…耳かき

する側も、気分いいんですよ？

こうして…………んう…………甘えてもらって…………、

気持ちよくなってもらって…………、

ん、う、ん…………ん…………んう…………。

母親になれた気分です…………♪

ん…………んう…………ふう…………んく、ん……………………。

ふう、ん、んく、ん…………ッ、ん、う、ん。

ふう、んん、んく、んう…………。

もう少しで終わりなのが名残惜しい……。
感じて、癒されて……幸せになって……
♥

んう……んん……ん……。

ふう、んう、んう……。

はい……もう大丈夫かな。

(耳かき停止)

ふふふ。

ちよっとおちんちん、反応してるね。

もう一回スッキリしてから、おやすみしよつか……？

●トラック5

●背景・客室(夜)

(トラック4の続き)

(主人公はひざまくらされた体勢)

■演技：常時囁きでお願いします

◆右近い

さつきから、おっぱい見ましたよね？
ふふふ。

顔、こっち向けて？

(頭を仰向けに変える)

◇SE：身じろぎ

◆正面近い

下から見上げるおっぱいはどうですか？
吸いたいですか？
それじゃあ……

(千鶴、自分の胸元を着崩す)

◇SE：着崩す音

おっぱい吸いながら、おちんちんシコシコしましよつか？
ママが恋しいボクのために……チューチューしながら、シコシコされてみて？

(主人公の浴衣をはだけてパンツをずらす)

◇SE：パンツをずらす

■演技：主人公の下半身を見る

あらあ？

ふふふ。おつきくなってますね……♪

おっぱい好きなんだ？

やっぱり、ママが恋しい？

遠慮なく吸って大丈夫ですよ……♪

(主人公、吸い始める)

あん……♪

ふふ、ノリ気ですねえ……♪

それなら私も……、

(ペニスを握る)

このカチカチでピンピンなおちんちんを握りながら……、

◇SE：手コキ・低速

シコシコ、気持ちよくしていきますね……♥

はあ……んう、ん……。

母乳、出したことないけど……んんうう、

子供に吸われるのって、こんなに……ん、愛しい気持ちになるのかな……。

ん……ふう……んく、ん……。

ん……ふう、ん、んう……ん、んく……ん……。

気持ちいい？

おっぱい吸いながらの手コキは……♥

んんう……ふうう、んく、ん……。

ふう……ん、う、ん……んうう……。

はあ……ん、う、んん、んくん、んう……。

はあ……はあ……んく、んう……んうツ、ん……。

ふうう、ん、っ……ん、ん……。

甘噛みするくらいでしたら……、

ちよつとくらい、強めに吸っても大丈夫ですよ……？

んう……んんう。

あつ、んく、ふふ、懐かしい、気分……。

んんくツ、あなたと触れると……どんどん、

夫との記憶が戻って……はあ、はあ……センチメンタルになっちゃう……。

ふふ、んん、んく……ん、でも、ありがとう……♪

あなたが、興奮してくれるおかげで……んん、ん、

いつまでも、過去で悩む私が……んく、少しだけ、前、向けてる気がする……♪

んくんん、ツ、ん……んん、ふう、ん、んううつ。

はあ……ん、う、ん……ん、ん……。

はあ……んんく、ツ、ん、う、んんうツ、ん……。

ツ、んんう、ううんん、ん、んう、ん……。

はあ……あ、ああ……んん、んく、んう。

ふう、んん、ん、う、ん……ん、ん……。

うう、ん、んんう、夢中で感じちゃった。

ふふふ。

チューチュー吸うの、上手ですね……♥

ん、うんん、んく……んう……ん……。

はあ……んく、ん……んう……。

んう……んんく、ん……ん……ふうう。

ン……んく……んうう……んう……。

はあ……はあ……んんん、う、んう……。

はあ……はあ……んく、ん……、ん、う、んんう。

どうですか？

もつと……激しいのがよかったですか？

(主人公「は、はい……」)

ふふ。食欲でいいですね♪
では遠慮なく――

◇SE：手コキ・中速

シヨシヨ♥ シヨシヨ♥ シヨシヨ♥ シヨシヨ♥
おちんちん、気持ちよく……んう、
シヨシヨ、続けていきますね……♥

んく、んう……んんう、んつ。
ふう、んん、ん……んう……。

ボクも、私をイカせるくらい……、
いっぱい吸っていいですよ……♥

んん、う、ん……ふう、ん、んく……。
んう……ふうう……ん、んう……。
そう……♥

どっちのおっぱいも、平等に……♥

あなたの唾液まみれにしちゃっていいんですよ♥
んんう、んく……んう、おっぱいも、汚されたがってる……♥
ふうう、んんく、ん……んう……。
はあ……はあ……ん、う、ん……ん……。

ふううう、んんく、ん、う、ん……んツ。
ん……あ、んうう、ん……ん、んうう……。
はあ……あ、ん、んつ……んう。

ふう……んく、ん……んう……。
ああ……気持ちよさそうな顔……♥
可愛いねえ……♥
ずっと、ぎゅーつとしたくなる……可愛い顔♥

はあ……はあ……んん、はあ……はあ、ん、んう……。

んく……ん、う、んん、んう……。

(主人公「出そう、です……ッ」)

限界？

いいですよ……最後、一気にシコシコ駆け抜け抜けちゃうから、
そこでぴゅつとしちやつてくださいね？
いくよ？

◇SE…手コキ・高速

はあ……はあ……んううう、んくッ、んうう。

はあ……んんうう、んく、んう……んうううッ。

あなたの吐息が……んううう、

乳首に当たってる……♥

はあっ、はあ……ッ。

気持ちいい……♥

イッて？

はあ……はあ……はあ……ッ♥

イカせたい……ッ。

ああああ……ッ♥

(射精)

(手コキ停止)

◇SE…射精

あッ——！

はああ……あ、ああ……ッ。

んく、う、んう……んううう、。

たっぷり……♥

普段、こんなに出るんですかあ……？

ふふふ、羨ましい……………♥

夫も、こんなに出なかった……………♥

はあ……………ああ……………すごい……………♥

んう……………んう……………。

これで、スッキリ眠れますね♥

頭、浮かせて？

(千鶴、膝を頭から抜く)

◇S E…身じろぎ

(千鶴、枕を主人公の頭の下へ)

◇S E…枕を置く

どうぞ枕へ……………♪

◇S E…枕に頭を乗せる

最後まで、気持ちよくなってよかった……………♥

(千鶴、反対の手で頭を撫でる)

◇S E…頭を撫でる音

これで、ぐっすり……………♥

(少しの間)

おちんちは気にしないで？

起きた時には、綺麗になってますから……………♪

(少しまどろんできて、声が遠くなる)

◆右極近

おやすみなさい……。
可愛い、可愛い、坊や……。♪

(少し沈黙)

(さらにまどろんで声が遠くなる)

私ね……。去年、病で……。

さつき、気づいたの……。

ずっと、あの人が戻ってくるって……。

亡くなったのを知ってたくせに……、

彼が、戻ってくるなんて、勝手な想像して……。

(少し沈黙)

あなたが気づかせてくれた。

あなたが……。子供の欲しかった私達夫婦の願いを思い出させて……、

懐かしい記憶、蘇らせてくれた……。

ありがとう……。♥

あなたの旅に、祝福を。

◇SE…発光するような音 (音量控えめ)

(SEのフェードアウト)

●トラック6…エンディング

●背景…客室(朝)

(主人公、寝ている)

(アビゲイルが戻ってくる)

(会話はアビゲイル)

◇SE…ふすまを開ける音

◆左

戻ったぞー。

◇SE…足音

(アビゲイル、主人公の上にとすと乗る)

◇SE…乗っかる音

(主人公、目が醒める)

◆正面近い

おはよ。

なんでチンコ丸出しで寝てる？

(主人公「帰ったの？」)

うん。いま戻った。

僕ちゃ——こほん。ご主人様と奴隷契約してるし、
そんな長時間離れるわけにもいかないしね。

で、なにしてるの？

(主人公「女将さんは？」)

女将？

は？ 誰それ？

(主人公、起き上がる)

◇SE…起き上がる

(主人公「女将さんだよ！」)

女将？

人の名前？

聞いたことなんだけど。

そもそもここ、無人の旅館なんだから誰もいないっしょ？

(主人公「は？」)

だから無人だってば。

ギルドが管理してる無人の格安旅館。

なんか、去年ぐらいからここ管理してる人が死んだんだってさ。

そんでギルドがあたしらみたいな金無し貧乏人のために

格安で貸してるって言うってたぞ。

ギルドもまさか、自分らの狙ってたサキュバスを泊まらせてるとは思ってただろー
けどなく笑

いや、愉快じゃ♪

(主人公「そんな……」)

変な夢でも見てたの？

しつかりしてよご主人様。

西の要塞都市に行くんだろ？

そんなぼやぼやしてたら騎士の弟子入りなんてムリムリ。

あたしを従属させたんだから、

そんなくらいしつかりしてよね。

(少しの間)

あ、それとも抜く？

シコシコするか？

昨日ヤツてないし、マンコ使ってもいいよ♪

サキュバスに中出しザーメンはご褒美だ♪

(主人公「う、ううん。大丈夫」)

そう？

いいの？

■演技…あーあもつたいない、みたいなニユアンス
旅出たらしばらくセックスできないのにね〜。

(主人公「旅、しょうか」)

ん？ うん。

旅支度しよ。

あ、その前にあたしお腹減ったからなんか作って！

ウインナー食べたい！

(主人公「仕方ないなあ……」)

シシシ♪

さ、早く早く〜♪